



第103回院内コンサート

日時：2024年5月18日（土）13時30分～
場所：亀田病院 新館待合ホール

♪ ♪♪ 演奏者プロフィール

やまだ えみこ

フルート：山田 恵美子さん



東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学器楽科卒業。第45回日本音楽コンクール第2位入賞。ウィーン国立音楽大学留学。ウィーン、東京、横浜、福岡に於いてリサイタルを行い、好評を得る。東京シティーフィルハーモニック管弦楽団を経て、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者を2020年まで務める。かながわ音楽コンクールや、吹奏楽コンクールの審査員を務めている。洗足学園音楽大学、パールフルートギャラリー講師。一般社団法人横浜音楽文化協会会員。



たかす あきこ

ピアノ：高須 亜紀子さん

フェリス女学院短期大学音楽科ピアノ専攻、東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。フェリス女学院大学大学院創作表現(作曲)専攻修了。ピアノを故塚本ルリ子氏、作曲を岡島雅興氏に師事。ピアノソロに加え、声楽伴奏、室内楽、現代音楽の分野で活動している。作曲においては、第9回音楽と地球国際コンクール(於ブルガリア)作曲部門第1位受賞。現在、鎌倉混声合唱団ムジカおさらぎピアニスト。一般社団法人横浜音楽文化協会会員。





♪プログラム♪

ファンタジー



1 『歌の翼』による幻想曲

シュティックメスト作曲

メンデルスゾーンが1834年に書いた歌曲『歌の翼』は、明るいメロディーで、当時大変人気がありました。それをフルートとピアノに編曲したシュティックメストは19世紀のドイツ人と思われませんが詳細は不明です。

2 ファンタジア 2番 イ短調

テレマン作曲

低音無しの横笛フルートの為の12のファンタジアは、当時では数少ない作品の一つです。

即興的な性格があり、奏者の感受性に依じて自由に奏でる事が求められます。

3 ファンタジー

フォーレ作曲

今年、没後100年のフォーレには珍しい管楽器の独奏曲です。前半は緩やかなホ短調、後半は快活なハ長調、憂いを帯びた旋律から徐々に盛り上がった後、華やかなロンドへ進展します。

4 幻想即興曲

ショパン作曲

昭和の頃にインスタントコーヒーのCMであらゆる人の耳に馴染んだ『幻想即興曲』は、ショパン(1810~1849)が25歳で書いた作品です。ショパン自身は焼き捨てる様にとっていたのですが、彼の死後に友人によって出版されました。情熱的で速い部分に挟まれた、ロマンティックな緩やかな部分が、とても魅力的です。

5 カルメン幻想曲

ボルン作曲

フランスのフルーティスト、ボルンがビゼー作曲のオペラ『カルメン』を題材に様々な場面を、描いている。ベーム式フルートを彼が更に改良して、その為に書かれた高い技術が求められる作品です。



お願い：許可のない動画・写真の撮影はご遠慮ください。
なお、感染拡大の際にはコンサートが中止となる場合もございます。

次回、第104回院内コンサートは2024年6月15日(土)13時30分～